

## 平成28年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	ほくほく線沿線の駅を中心とした芸術文化活動による地域の活性化 -末広小学校・中保倉小学校閉校事業を中心に-
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・阿部靖子
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市立末広小学校, 上越市立中保倉小学校, 岩室の会, NPO 法人 里やま学校 他 (担当者職名・氏名) 校長・中野英康 他 岩室の会事務局 里やま学校事務局
4 事業の趣旨・目的	上越市頸城区, 浦川原区にある「ほくほく線」沿線の駅(大池いこいの森駅・うらがわら駅・虫川大杉駅など)を中心とした地域の活性化を目的に, 本年度は特に, 浦川原区の小学校3校が統合される中で, 「アートの力を生かした活動を通して, 地域住民(子ども・大人), 訪問者, 学生, アーティストが交流し, 閉校記念事業を行うこと」を目的とする活動を行った。
5 事業活動報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月7日, 8日, 浦川原区にあるてい山荘において, ガラスをアクリル板に貼り付け, 浦川原の紹介をするワークショップを長岡造形大学の学生と本学美術コースの院生6名が子どもたちに行った。 参加者: 小学生21名, 保護者5名, 学生(21名), 教員(校長2名, 大学2名)</li> <li>・平成28年7月8日(金)末広小学校において, ガラス窓に全校生徒と教職員の姿を写し取り, 各自で色を塗るワークショップを行った。閉校しても自分たちが学んでいたことを思い出すように, 外から見えるランチルームの窓ガラスで行った。 参加者: 全校生徒約60名, 教職員25名, 学生9名, 教員3名</li> <li>・平成28年8月20日(土)大池いこいの森駅隣接の「大池いこいの森里やま学校」でのピオトープを生かしたワークショップを実施した。 参加者: 小学生高学年3名, 小学生低学年と保護者3組, スタッフ5名(本学院生1名含む) 計21名</li> </ul>
6 本事業で得られた成果	アートとデザインの力を生かした活動は, 将来教員となる学生にとって美術教育の実践力をつける意味で重要であり, 院生らは積極的に子供たちと関わり, 美術活動を通じた教育のあり方について学ぶことができた。そして, 参加した子供たちも充実した時間を経験することができ, 地域の良さを認識し, それを表現することができた。北陸新幹線の開業により利用客の減ったほくほく線沿線の駅に作品を設置したことで, 駅の活性化と, 地元と訪問者の接点になる場の提供という点で, 地域の活性化に大きく貢献したと考える。また, 閉校となる小学校の記念となるワークショップは, 生涯心に残る活動であったと思われる。さらに, 毎年行っている里やま学校のワークショップでは, 地域の子供や大人が自分たちの自然豊かな環境を再発見し, その自然の材料を使って作品を制作するという点で, 教育と地域両方に大きく貢献している。
7 その他 (成果物等の名称)	